

検討テーマ：「子どもの健全育成と高齢者が安心できる地域づくりについて」

(○：前回までの意見、■：今回出た意見、●市長の発言)

	課題	方策
3世代交流	<p>○三世代のふれあいを重視</p> <p>○子どもたちが地域に入って、どの様にしたら3世代交流がうまくいくのか。</p> <p>○イベント参加者は毎回同じ。参加しない高齢者をどの様に参加させるか模索中。</p> <p>■年代の開きによる考え方の差をどう埋めていくかが課題。</p> <p>○中高生で交流が途切れる。防災訓練に参加してもらいたい。</p> <p>○子どもたちは、こちらからあいさつしないとしてこない。</p> <p>■共働きで参加が難しい家庭や親の価値観も多様化している。地域で子どもを健全育成し、年代を超え理解してもらえよう取組を進めていかないとこれからは難しい。</p>	<p>○若いも若きも参加しないと意味がない。老人と子どもを引き出す。</p> <p>○地域で3世代がうまくかわりを持てることを仕掛けたい。</p> <p>○一度に3世代交流は難しい。まず親子の関係または40歳前後と60前後の方々の関係など2世代のつながりを作っていくほうが具体化できるのではないかな。</p> <p>○中高生がもっと参加して、大人と交流を深めていけるように図りたい。</p> <p>○不審者の問題がある。自分がどこの誰か所属をはっきりさせることで、子どもたちに安心感を与えられる。</p>
高齢者の見守り	<p>○普段から高齢者同士のきずなが、どこまで取れているのか懸念される。</p> <p>○寝たきり老人の把握がどの位できているのか疑問。</p> <p>○民生委員と自治会が各々把握している情報のドッキングを考えている。</p> <p>○名簿作りなどは、町内会、民生委員で継続・更新しないと意味がない。</p>	<p>○祭りの当番町を利用して、出来るだけ多くの高齢者に参加してもらおうと声かけをしている。</p> <p>○高齢者が外出しなくなってしまったのは、井戸端会議の場所、座り込んでおしゃべりする場所がなくなっていることが一番の問題だと思う。</p>
防災訓練	<p>○木造家屋が多く大火が心配。人口密集地域で、高齢者が非常に多い。要援護者の支援方法を検討中。</p> <p>○中学生は部活の為、なかなか訓練に参加してもらえない。12月だったら比較的に子どもたちは参加しやすい。</p> <p>○避難所の運営方法を重視したい。一つの避難所を12~13の自治会で管理運営することについて考えなくてはいけない。</p>	<p>○要援護者の支援者を決めているが、中学生高校生が手を上げてくれた。今年から組を3組4組集め、ブロック化を進め防災組織の見直しを行っている</p> <p>○12月の最初の日曜日が地域防災訓練の日になっている。その日の一斉実施に向けて準備して欲しい。</p> <p>○一斉に実施したら水消火器や機材を借りられない。たぶん全市一斉にすることは出来ない。</p>

(○：前回までの意見、■：今回出た意見、●市長の発言)

	当面の取組み	取組みの担い手 / アイデア
3 世 代 交 流	<p>■不審者対策のため、子ども会行事には保護者に送迎を必ずお願いしている。送迎が難しいと子ども会入会は困難。町内でサポート出来る体制を作ることと、親からも送迎などの援助が欲しい等の情報発信を行うことが必要。</p> <p>■共働き家庭の対応も必要。親がいなくても子ども会に参加できる体制づくりが必要。</p> <p>■コミュニケーションがしっかり取れば上手いく課題がある。コミュニケーションは子ども会に入り地域の方と顔見知りになることから始まり、ずっと続く。子どもだけでも入って欲しい。</p> <p>■行事には3世代が多く参加できるよう、遊び心を取り入れる。</p> <p>■学校で子ども会の集まりを開けないか。現在は子ども同士で何か計画する事がない。</p> <p>■西小でラジオ体操を実施しているが、自治体単位ではない。6年生中心に町内の子を集めて行えば子ども同士のつながりが出来、いじめ防止にもつながる。</p> <p>■本日、各自治会のすばらしい活動内容の紹介があった。市民にも情報発信をして欲しい。</p> <p>■緑町佐野保育園では子どもと遊んだり、簡単なお手伝いをしてもらう65歳以上の男性ボランティアを募集している。緑町でそういう方がいれば是非協力して頂きたい。</p>	<p>■母親を説得するなどして子ども会入会を進めていきたい。</p> <p>■なおらい、子どもは地域の宝、防災訓練の3つを組み合わせ一度に実施した。子どもからお年寄りまでを対象とし呼び掛け、皆喜んでくれた。青年会を再度立ち上げる話、新しく婦人会を作る動きが出てきた。(栄町)</p> <p>■しゃぎりでは保存会が中心になり、中学生以上の参加を促すため町内で18歳以下の子の浴衣を作成。結果、ほとんどが参加しその後の運動会にも参加。他地域から子ども会に入った人へ、高齢者から寄附された浴衣を配布した所、全員が参加。子どもが参加すれば親も参加する。(泉町)</p> <p>■現状はマンションに住む方が増え、財政難で困っていると聞いている。マンション建設時、パンフレットに一般管理費の他に町内会費を記載してもらい、自動的に組に入る仕組みにすると良い。</p> <p>■マンションから子ども会役員、町内会役員を必ず出す方針にしたところ、運動会でも新しく入った方が多く参加した。</p> <p>■現在、ラジオ体操は自主参加という形。町内会で行うには自治会、子ども会の協力が必須。</p> <p>●本来、自治会連合会が行うこと。良い活動をしたから広報みしまに載せて欲しいということになれば市として考える。</p>

(○：前回までの意見、■：今回出た意見、●市長の発言)

	当面の取組み	取組みの担い手 / アイデア
高齢者の見守り	<ul style="list-style-type: none"> <li>■西本町では老人会が消滅した。役員、会長のなり手がいないことが理由。</li> <li>■高齢者の問題については各組で相談・見極めをしてもらう。</li> <li>■子どもが遊んでいる傍で大人がお茶を飲むような場所があってもいいのではと思う。</li> <li>■公民館ができたので、詩吟、太極拳、将棋、カラオケと10数名が毎週来ている。マンションの年配の方も大分入ってきた。これからいい方向に行くのではないか。(南町)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■町内会に高齢者・老人会担当役員を置く。老人会の行事内容や予算を決定し、町内会とのつなぎ役を担ってもらうことはできないか。</li> <li>■きずなづくり推進モデル地区の紹介をしてほしい。視察、勉強会開催等の取組につながる。</li> </ul>
防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>■3世代が多く参加できるよう、遊び心を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■防災訓練では、子供を要援護者に見立てて担架や車椅子で避難させる、子供を支援者が避難所に連れていく等の訓練を実施した。</li> <li>■今回テーマの避難所訓練の前段階として、各町内防災訓練をやってもらい、まず各町内で防災体制を整備した。町内独自の問題として、12月中旬～3月上旬に「火の用心」を実施しているが、若い人だけでは人数不足なので去年から組単位で実施している。(栄町)</li> </ul>